平成26年度 特別会計 決算（主な質疑）

■国民健康保険

国保事業、現在の状況は

問 国保事業は、市町村単位で運営されているが、平成30年から県が取りまとめる広域事業となることが国会で決まった。現在の状況は。

答 国保連合会の主催で会議が実施されていますが、具体的な内容はこれからで、現在お伝えできることはありません。ただ、方向性として国保データベースを利用したデータヘルス事業、そして全自治体で糖尿病重症化予防事業の実施を目指しているとのことです。

また、国の考えとして税の収納率向上と、特定健診の受診率60％[5]を目指しており、その目標が達成できた自治体に対して、国の支援の方向が示されました。

健康づくりに対する目標

問 予防医療の充実はもとより、日ごろから身近に取り組むことのできる機会が必要では。

答 平成27年度、町長の指示で、健康長寿を目指して、観光や文化も取り合わせた健康づくり事業に取り組みます。担当の3課（健康増進・産業観光・生涯学習）で協議をし、まずは歩こうということになりました。ほぼほぼ隊の方たちにもご協力いただき、30分～1時間くらいで歩ける身近な19コースをつくりました[6]。あわせて、歩く前にはラジオ体操をしていただくということで、早速これを11月ごろをめどに進めていきます。

ラジオ体操の推進を

問 健康づくりの先頭に立って、役場でもラジオ体操の推進をすべきでは。

答 PR不足でしたが、役場有志で実施しています。健康づくりの機運を高めていくために、できることから進めていきます。

役場前でのラジオ体操

■介護保険

高齢者虐待の実態は

問 相談件数は減っているが、訪問件数は増えている。実態は。また、虐待の通報や情報提供はどのように受けているのか。

答 新たな虐待の相談は少ないですが、継続的な対応・支援が多くなっています。親子2人暮らしという家庭状況で、母親や父親の行動がどうしても理解できず、虐待に至るといった事案が見受けられます。また、情報の提供は、隣近所から通報を受けた警察をはじめ、区長・民生委員等からいただいています。

認知症サポーター養成講座

問 平成26年度はサポーター養成数が299人とのこと。受講者の傾向や事業の推進は。

答 現在は、住民の皆さんはもとより事業所、例えば金融機関等の職員の皆さんを対象・中心に行ない、窓口に認知症の方が来た際の対応を勉強していただいています。また、みどりが丘の自治会等にもお邪魔して講習を進めているので、それらは今後も広めていきたいと考えています。

■下水道事業

接続率の向上は

問 事業の予定に対し、延伸率は。また、接続率向上のための努力は。

答 平成26年度は、58・2％まで進んでいます。接続率を上げるために、説明会を開いたりシルバー人材センターに委託をして、年間300軒ほどを回り啓発を行なっております。

■水道事業

剰余金の処分・決算の認定は

問 財政難を心配するが。

答 老朽化対策と耐震化を進めていかなくてはならないと考えます。その上で、水道料金の改定も視野に入れていく必要があります。

[7]ポケットのように小さい規模の公園のことです。

[8]約6000人の方が訪れました。

平成27年度 一般会計 補正予算（主な質疑）

道路新設改良費

歩道の整備事業の詳細は

問 町道5308号線の改良に300万円、その用地買収に3500万円が計上されている。具体的には歩道の整備とのことだが、事業の詳細は。

答 町民会館駐車場北側の歩道を整備・新設します。あわせて、購入した用地にポケットパーク[7]を計画しています。

酒蔵めぐり

今年度のイベントの詳細は

問 昨年度末に県観光課が主体で行なった酒蔵めぐりは大盛況[8]であった。それを受けて、今年度は町が主体で同イベントを企画するようだが詳細は。また、今後の展開は。

答 今年度は、同程度のイベントを3月末に開催予定です。また、今後の方向性としては、町・商工会と町内3酒蔵の関係者を中心に実行委員会を組織して、恒常的に酒蔵または地酒等のキャンペーンをしていく旨が確認されています。

みんなで楽しく　おいしい給食

学校給食センター

給食センターの今後は

問 備品の購入とのことだが、老朽化を考えたとき、今後もこういった費用が必要になってくるのか。給食センターの長寿命化や今後のあり方は。

答 今回の対象は、電気式の消毒保管庫と検査用保管庫となります。また、老朽化ということで、こういった更新や修繕の費用が増えています。今後のあり方は、担当課だけでなく町全体で取り組んでいきます。当町の給食はとてもおいしくて評判がいいです。そういうものを維持できるように模索しています。

地方創生関連予算

いきいき子育て支援事業の継続

問 財源の条件として、①ソフト事業に限られること　②今年度内に事業が完了することを考えたとき、対象のいきいき子育て支援事業として提案された2事業（第3子以降の給食費無料化・就学前の助成金）は、来年度も継続されるのか。また、その際の財源は。

答 現段階では、継続性のある事業として位置づけし、予算措置を考えているところです。また、その際の財源として、2分の1程度の補助率になるであろう新型交付金を考えています。

地方創生関連予算

まちおこし事業の詳細を

問 ご当地キャラクターまちおこし事業の詳細を。

答 まずは、小川和紙の新しいパンフレットをつくります。他産地に倣い、商品カタログの要素や役割を持ったパンフレットを考えています。次に、小川和紙のロゴマークやマスコットデザインの意匠登録を行ないます。

もう1点は、クリアファイルの作製を考えています。前段のロゴやデザイン、星夢（すたむ）ちゃん等をあしらったクリアファイルをつくりながら、小川和紙の宣伝普及に努めます。

問 星夢ちゃんの知名度は高く、町を代表するキャラクターと言っても過言ではない。その中で新たなキャラクターは必要なのか。星夢ちゃんを生み育ててきた商工会青年部をはじめ、住民の皆さんの理解を得られると考えているのか。

答 当初はそういった新たなキャラクター等によるまちおこしを考えていましたが、議員各位との事前説明会で意見・提言を頂戴し、再考したところです。

単にキャラクターをつくるということではなく、新しいロゴや、そういったデザイン画のようなものを活用しながら、小川和紙に特化したまちおこしにつなげていきたいと考えています。また、関係の皆様との連携を図りながら、まちづくりを推進していきたいと考えます。

星夢ちゃん

[5]平成26年度の当町の特定健診の受診率は36％でした。

[6]各コースが記載されている「健康長寿ウオーキングマップ」を作成しました。マップは役場などで入手できます。